

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 6 月 14 日 (2012.6.14)

【公表番号】特表 2009-536229 (P2009-536229A)

【公表日】平成 21 年 10 月 8 日 (2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報 2009-040

【出願番号】特願 2009-508197 (P2009-508197)

【国際特許分類】

C 0 9 D 17/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 17/00

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 24 年 4 月 25 日 (2012.4.25)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 3 重量 % ~ 5 0 重量 % の少なくとも 1 種のカーボンブラックと、

b) 5 重量 % ~ 3 5 重量 % の、塩化鉄 (I I) の存在下でのニトロベンゼンとアニリンとの反応生成物の硫酸化及びこれに次ぐ中和によって得られる少なくとも 1 種の生成物とを含有する、水性カーボンブラック配合物であって、成分 a)、b) および水性媒体を、9 0 重量 % より多く含むことを特徴とする水性カーボンブラック配合物。

【請求項 2】

成分 a) および b) を、水性媒体中で共に均質化させることを特徴とする、請求項 1 に記載の水性カーボンブラック配合物の製造方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のカーボンブラック配合物と、

c) 脂肪族 C₁ ~ C₄ アルコール、脂肪族ケトン、ポリオール、200 ~ 2000 g / モルのモル質量を有するポリグリコール、2 - ピロリドン、N - メチルピロリドン、N - エチルピロリドン、1, 3 - ジメチルイミダゾリジノン、ジメチルアセトアミド、およびジメチルホルムアミドの群から選択される少なくとも 1 種の有機溶媒を含有する、水性インク。

【請求項 4】

インクジェット法によって、シート状または 3 次元形状の基材に印刷するための、請求項 1 に記載のカーボンブラック配合物または請求項 3 に記載のインクの使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 9 】

本発明は、従って、

a) 少なくとも1種のカーボンブラックと、

b) 塩化鉄(II)の存在下でのニトロベンゼンとアニリンとの反応生成物からの、少なくとも1種の中和した硫酸化生成物と
を含有する水性カーボンブラック配合物を提供する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 2 】

アシッドブラック2の硫酸化の程度は、好ましくは15重量%～25重量%の範囲にある。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 4 】

硫酸化は、好ましくは、硫酸、発煙硫酸、クロロスルホン酸、アミドスルホン酸、またはSO₃などの硫酸化剤を用いて行う。特に、95～97の温度における96%硫酸、または、特に0～20、好ましくは8～12の温度における5～30%発煙硫酸が好ましい。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 5 】

例えば、96%硫酸を用いる硫酸化は、好ましくは0.5～3時間、特に1～1.5時間を要するが、20%発煙硫酸を用いる硫酸化は、好ましくは12時間を要する。こうして得られる硫酸化生成物は次に中和される。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 7 】

b) 硫酸化

50L攪拌容器に16.3Lの96%硫酸を装入する。10kgのソルベントブラック7を、攪拌しながら少しずつ加える。